



あじさい

～それぞれの色・様々な色～

相模原市立宮上小学校
学校だより
2026年7月17日
夏休み号



ほんとうにそうだね 共感の体験

大木 真理

中学校の先生から聞いた話です。中学時代、授業妨害や教師への暴言、乱暴な行動で荒れていた A さん。どんな語りかけや指導もなかなか届かず、とうとう中学校を卒業するまで信頼関係を築けなかった男子生徒がいたそうです。

二十歳になった同窓会で、久しぶりに A さんと再会。すっかり落ち着いた A さんが隣に座り、ぼそっと照れくさそうにつぶやいたと。「先生…修学旅行で見た金閣寺。夕陽が当たってすごくきれいだったじゃん…**あれ、一緒に見てくれてありがとな**」その先生も鮮明に覚えていたと言います。でもまさか、その何でもないような1シーンを A さんが覚えていたこと。そしてお礼を言われたことにとっても驚いたそうです。

夕陽が当たりキラキラと輝いて、とても美しかった金閣寺。あまりに美しくしばらく静かに見入っていたそうです。**隣にいた A さんが「きれいだなあ」と小さな声で独り言。先生も心から共感し「本当にそうだね」と思わず声が出たと言います。**それきりその話をすることもなく、在学中はその後も A さんの指導に明け暮れたと。

しばらくぶりの再会で、その1シーンが自分だけでなく A さんにも温かく残っていたと知り嬉しかったと。**一緒に体験してくれて、共感してくれて、ありがとうって…心が通じ合った瞬間って、相手にも伝わるもの**なんだなあと話してくれました。



授業中の何気ない一言でみんなが大笑いしたこと、難しい問題が解けて「できた！」と顔を見合わせたこと、けんかして一緒に叱られたことなど。学校生活の何気ない毎日の中にも、たくさんの心が通い合う場面があることでしょう。何年かたった時「あの時みんなで笑ったよね」「先生があんなこと言っていたね」と思い出すのは、案外そんな日常の一コマかもしれません。**楽しかったね、本当にそうだね。そう言い合える思い出が、宮上小の子どもたち一人一人の心の中にも、温かく積み重なっていたらとても嬉しいです。**



さあ、明日から子どもたちが待ちに待った夏休みです。**ご家庭でも、共感の体験をたくさんしてほしいと願っています。**それは、**子どもたちのエネルギーになります。**なにも特別な旅行やイベントでなくていいのです。今日も暑くてまいったねって愚痴り合う、テレビを見て一緒に笑う、ご飯を食べて美味しいねって顔を見合わせる…**子どもにとって共感・共有体験は宝物**です。

健康・安全に気をつけて夏休みをお過ごしください。「ぶじかえる」…8月25日に待っています。元気なみなさんに会えますように。